

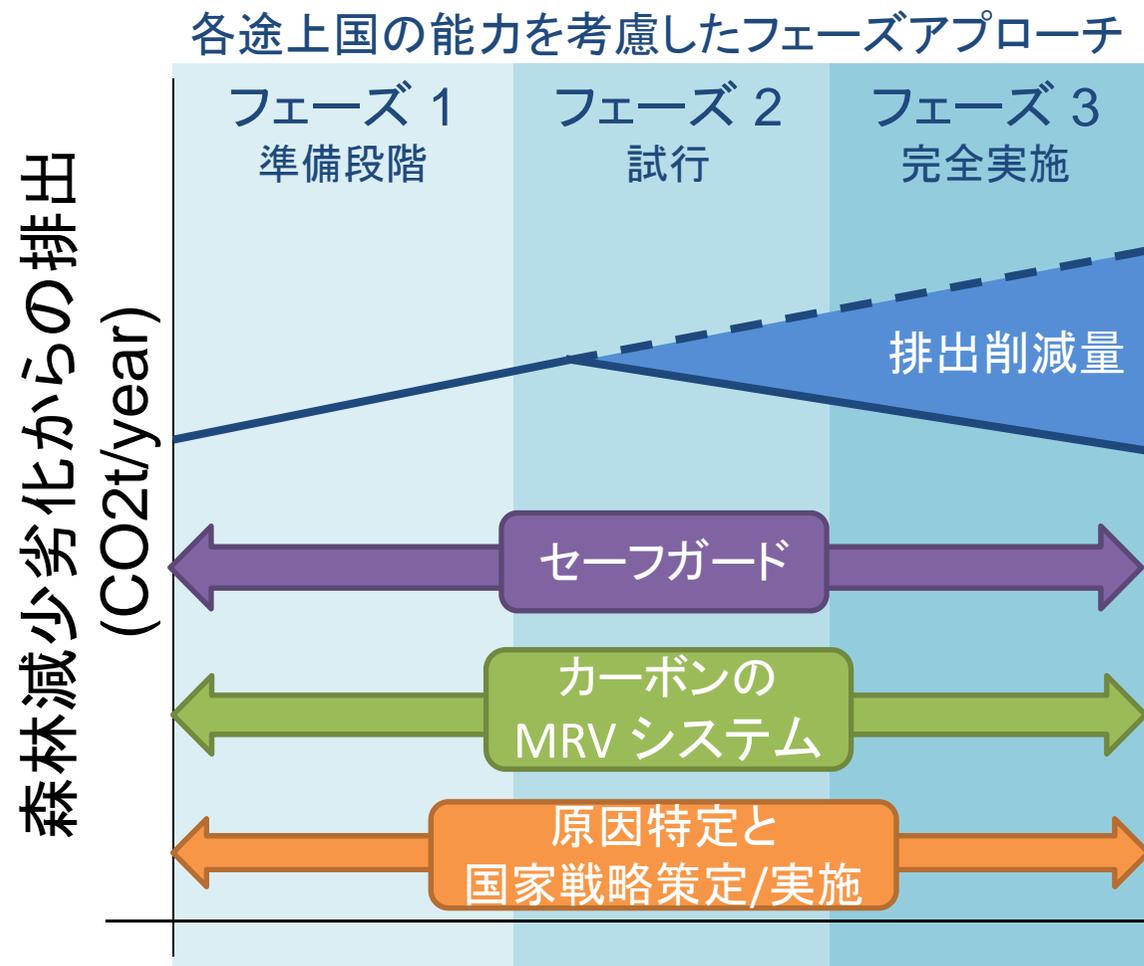
コミュニティ森林モニタリングが セーフガード情報システムに貢献する可能性

Potential of the community forest monitoring in
the national safeguard information system

(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES)
自然資源管理グループ森林保全チーム

山ノ下 麻木乃

REDD+実施に必要な要素 (COP16)



セーフガードとは？

- 開発のプロセスで、地域住民と彼らの環境への悪影響を回避・緩和するための指針（世界銀行）
- REDD+におけるセーフガード
 - REDD+が悪影響を与えないこと（リスク回避）を保障
 - REDD+が達成できるベネフィットの実現
 - カーボン（排出削減・気候変動緩和）
 - 生態系サービス向上・貧困削減
 - 持続可能な発展に貢献するREDD+メカニズム

REDD+のセーフガード (UNFCCC)

- REDD+の基本的な要求事項
 - 各国の状況に合わせ、具体的に翻訳する必要あり

REDD+のセーフガード (COP16)

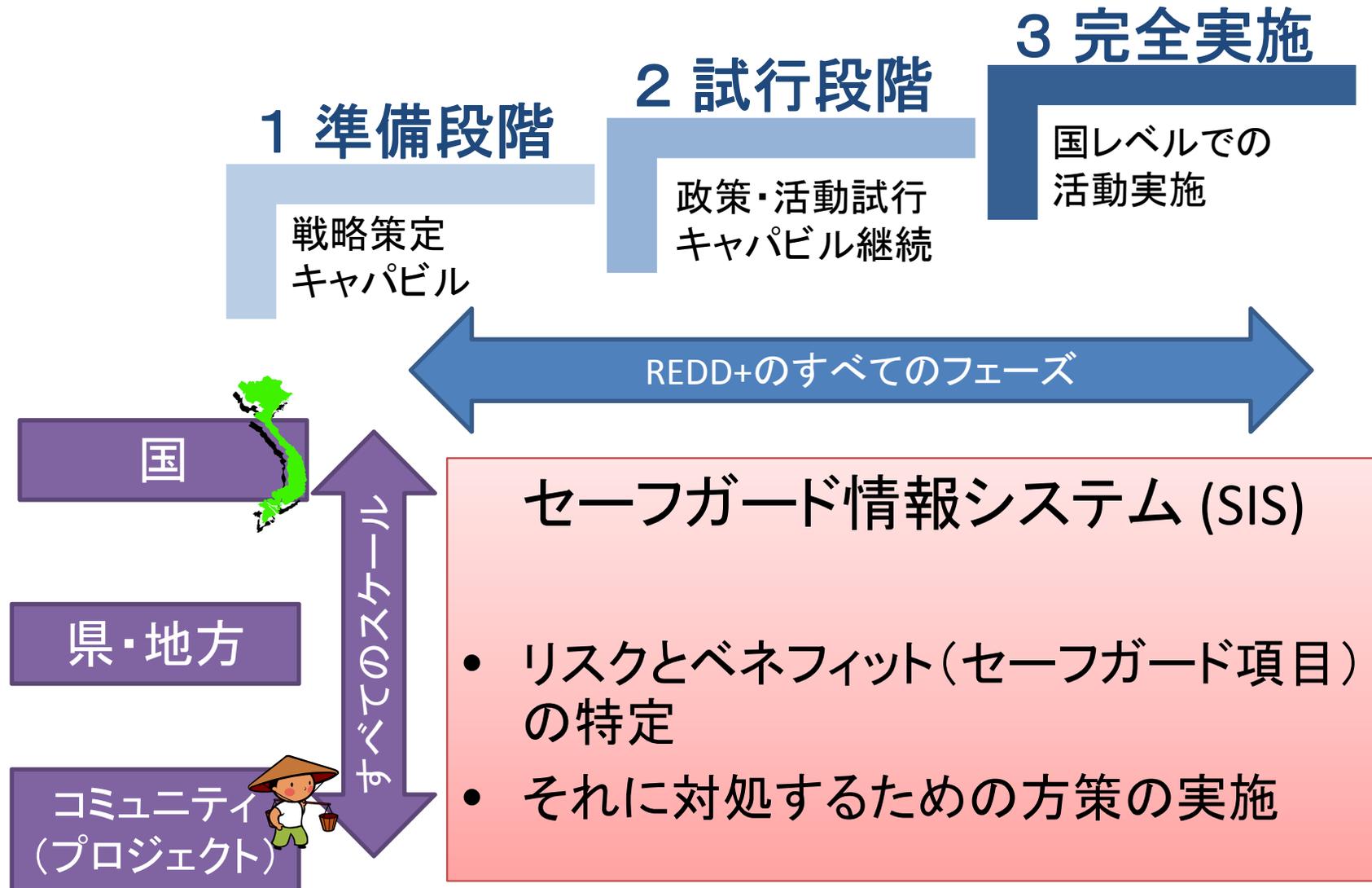
1. 森林政策や関連条約との整合性
2. 透明かつ効果的な森林のガバナンス
3. 先住民・地域コミュニティの知識・権利の尊重
4. 利害関係者の効果的な参加(先住民等含め)
5. 天然林や生物多様性の保全
6. リークエッジの防止
7. 非永続性の解決

セーフガード情報システム

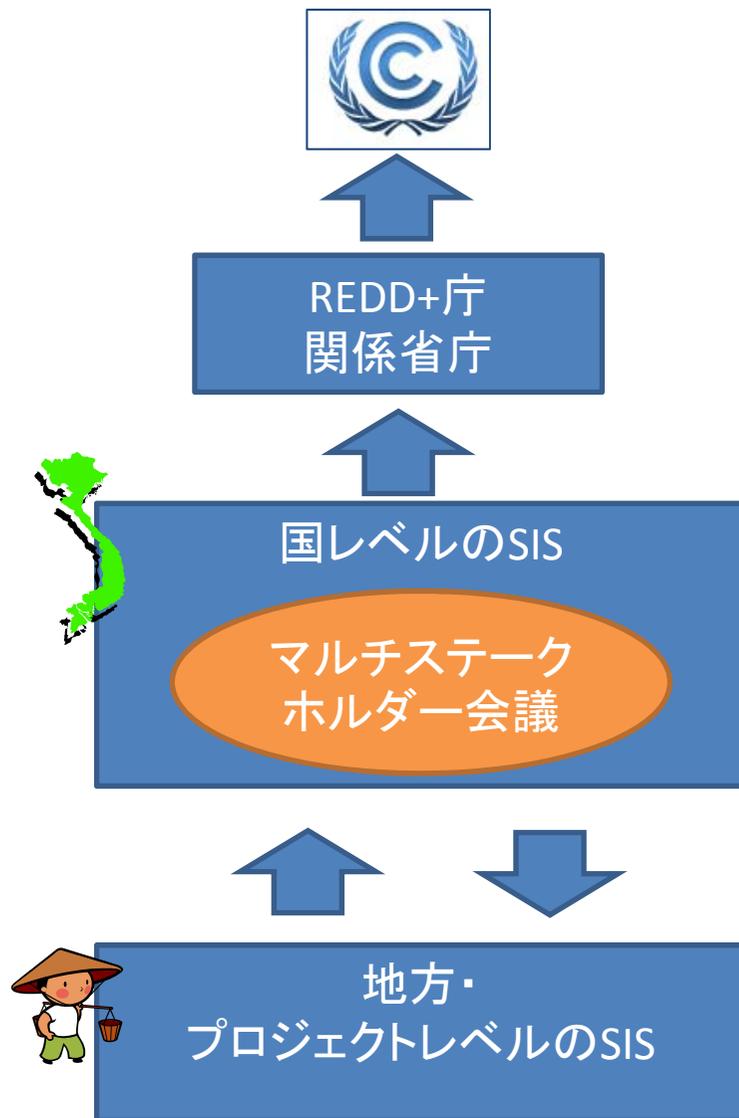
(SIS: Safeguard Information System)

- 途上国は、REDD+のすべてのフェーズにおいて、「セーフガードにどのように対処・尊重したのか」に関する情報を提供するシステムを構築する (COP 17)
- 「SISのガイダンス (COP17)」が決定した
 - 透明性・一貫性・フレキシブル・改善可能な……
 - 要求されるシステムの具体的な情報はない
 - 各国の状況に合わせてSISをデザインする必要

どのようなSIS?



国レベルのセーフガード情報システムの役割



- マルチステークホルダープロセスによるREDD+の準備と実施
 - 森林の様々な関係者(先住民・民間企業etc)の代表
 - 森林ガバナンス改善
 - キャパビルの必要性
- 地方・プロジェクトレベルの活動に反映
 - モニタリング・報告・評価システム
 - 森林カーボンMR(V)

コミュニティ森林(カーボン)モニタリング

- 森林のモニタリングと報告 (COP15)
 - 地域コミュニティ・先住民の参加と彼らの知識の活用が要求されている
 - 国家森林モニタリングシステムの構築
- IGESのアプローチ(アジア・太平洋地域5か国)
 - 森林の地上調査はコミュニティが参加する機会の1つ(これまでは専門家が実施)
 - コミュニティがどのように貢献できるのか？
 - どうすればコミュニティが参加できるのか？
 - そのベネフィットは何か？

Our experience

カーボン・モニタリング:

- コミュニティは正確にモニタリングできる
- モニタリングコストは専門家よりも低い
- 適切なコミュニティのトレーニングが必要



コミュニティと専門家の計測比較



Community



Expert

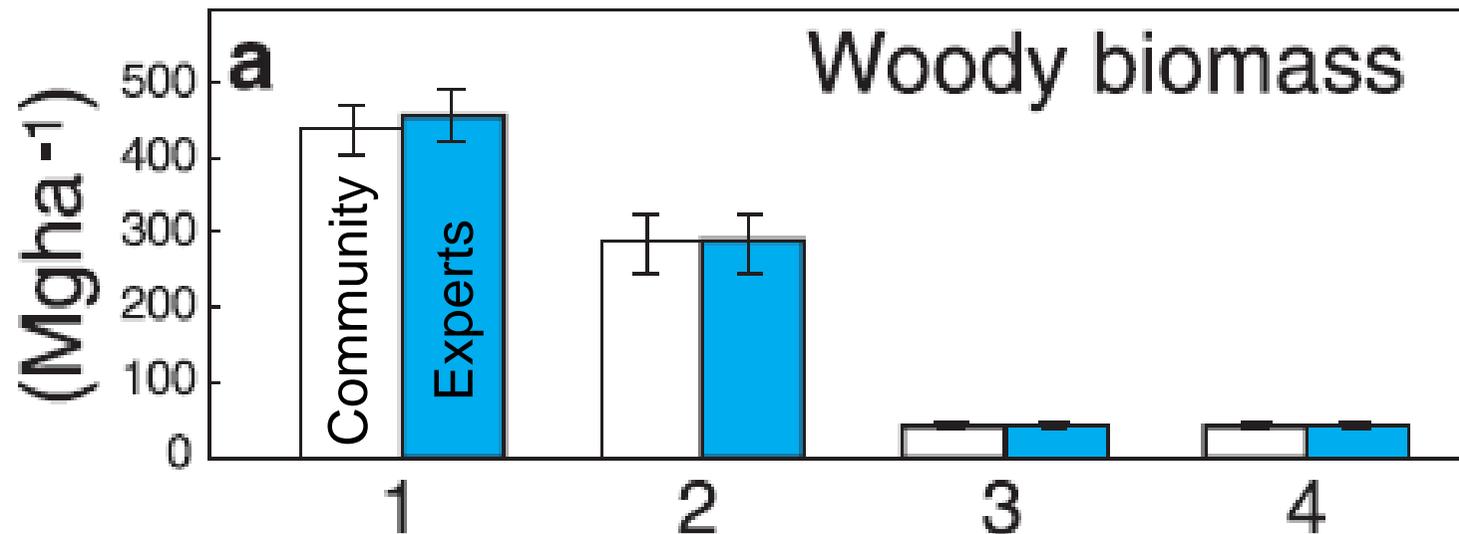
Cambodia

Deciduous forest

72.2 ± 23 tC/ha

73.8 ± 8.6 tC/ha

(Vathana 2010)



(Danielsen et al. 2011)

Our experience



カーボン・モニタリング:

- コミュニティは正確にモニタリングできる
- モニタリングコストは専門家よりも低い
- 適切なコミュニティのトレーニングが必要

セーフガード確保:

- 住民の参加
- モニタリング結果を住民と共有することでより良い森林管理(非永続性・リーケッジ防止)

プロジェクトレベルのセーフガードモニタリング

- 生物多様性・社会的側面など、

コミュニティ森林モニタリングの可能性

国レベルとコミュニティの
森林モニタリングを
リンク・統合する



- カーボン・モニタリング
 - より詳細な情報
 - モニタリング精度向上
 - 独立した検証データの提供
- セーフガードの確保
- セーフガード・モニタリング、情報システムの確立
 - 効率的・効果的なREDD+システムの開発

まとめ

- コミュニティ森林モニタリングを国家森林モニタリングシステムに取り入れることは、プロジェクトレベルのセーフガードの確保に加え、セーフガード情報システム構築に貢献できる可能性がある
 - カーボンとセーフガードのMRVを同時に検討
- 国レベルのマルチステークホルダー・プロセスでも、コミュニティ森林モニタリングでも、地域住民のキャパビル・トレーニングが不可欠
 - REDD+の準備段階で重要
 - IGES: コミュニティ・トレーナーのためのマニュアルを開発中

どうもありがとうございました

IGESでは、コミュニティの森林モニタリング、REDD+交渉の分析などに関するペーパーを作成しています。

<http://www.iges.or.jp/jp/fc/index.html>

メールでのアップデート情報(不定期)配信をご希望の方は
fc-letter@iges.or.jp までご連絡ください